【FdData 高校入試：中学社会歴史：江戸】

[江戸幕府の成立と支配のしくみ／大名の統制など／農民の統制／朱印船貿易／禁教・鎖国／鎖国下の対外関係／農業や諸産業の発達／都市の繁栄／交通路の整備／幕府政治の安定／元禄文化／FdData 入試製品版のご案内]

[FdData 入試ホームページ]掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧]
※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると，新規ウィンドウが開きます
社会： [社会地理]，[社会歴史]，[社会公民]
理科： [理科 1 年]，[理科 2 年]，[理科 3 年]
数学： [数学 1 年]，[数学 2 年]，[数学 3 年]
※全内容を掲載しておりますが，印刷はできないように設定しております

【】江戸幕府の成立・鎖国

【】江戸幕府の成立と支配のしくみ

[江戸幕府の成立]

[問題]

1600 年，徳川家康は石田三成らを(　　)の戦いで破った。文中の(　　)内に入れる適語を答えよ。

(高知県)

[解答欄]

[解答]関ヶ原

[解説]

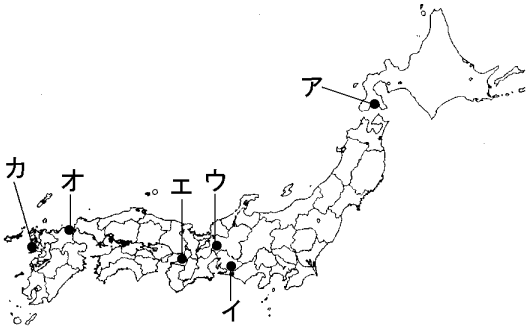
豊臣秀吉(とよとみひでよし)の死後，徳川家康(とくがわいえやす)は 1600 年の関ヶ原(せきがはら)の戦いで石田三成(いしだみつなり)を中心とする豊臣方を破り，実権をにぎった。1603 年には征夷大将軍(せいいたいしょうぐん)に任じられ，江戸幕府を開いた。(人群多(ひとむれおお)(1600)い関ヶ原／人群れ満(1603)ちる江戸幕府)　これ以降 260 年余り続いた時代を江戸時代という。さらに，徳川家康は，1614，1615 年の二度にわたる大阪の陣(おおさかじん)で豊臣氏をほろぼした。

[江戸幕府の成立]
1600年 関ヶ原の戦い
1603年 徳川家康 が征夷大将軍
→江戸幕府
1614，15年 大阪の陣

※入試出題頻度：「関ヶ原の戦い○」「徳川家康○」「征夷大将軍△」「大阪の陣○」
(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[問題]

関ヶ原の戦いが起こった場所を次の地図のア～カから選べ。




(島根県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]ウ

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

(　①　)は，関ヶ原の戦いに勝利したのち(　②　)に任命され，豊臣氏をほろぼし，江戸幕府の全国支配を確立した。

(鹿児島県改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 徳川家康　② 征夷大将軍

[問題]

徳川家康が，1615 年に豊臣氏をほろぼした戦いを何というか。

(青森県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]大阪の陣

[問題]

江戸時代は①何世紀にはじまり，②何世紀に終わったか。

(山口県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 17 世紀　② 19 世紀

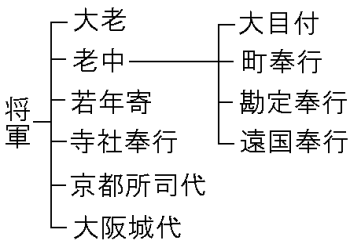
[解説]

江戸時代は 1603 年(17 世紀)～1867 年(19 世紀)である。

[江戸幕府のしくみ・幕領]

[問題]

右の資料は，江戸幕府のしくみを示している。次の①～③は，どの役職を説明したものか。右の資料から役職名をぬき出せ。




① 将軍の下で政治の運営にあたった。

② 幕府の財政や幕府の領地の監督を行った。

③ 朝廷と西日本の大名の統制を行った。

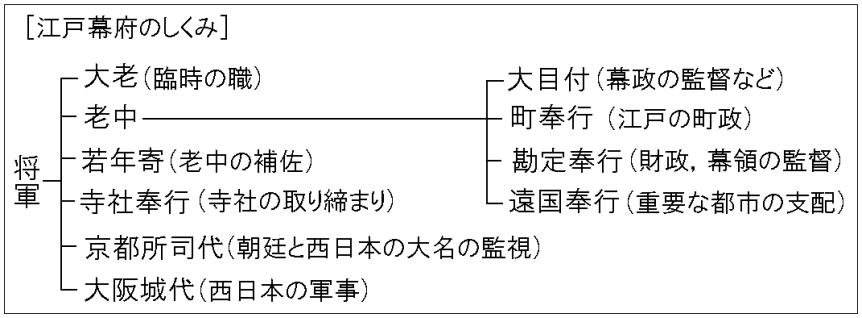
(補充問題)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① 老中　② 勘定奉行　③ 京都所司代

[解説]




将軍のもとにあって幕政を統括(とうかつ)したのは複数人からなる老中(ろうじゅう)で，重要事項はその合議で決められた。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

江戸幕府のしくみについて述べた文として最も適切なものを，次のア～エから 1 つ選び，記号を書け。

ア　執権を中心とする有力な御家人の話し合いで，ものごとが決定された。

イ　政治は，老中を中心に行われ若年寄や三奉行などの役職が置かれた。

ウ　太政官が政策を決め，その下で八省などが実務に当たった。

エ　管領は，他の有力な守護大名とともに政治を行った。

(長野県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]イ

[解説]アは鎌倉幕府，イは江戸幕府，ウは奈良時代の律令制度，エは室町幕府である。

[問題]

江戸幕府の組織で，非常の時など必要に応じて置かれた職を何というか。

(青森県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]大老

[幕領など]

[問題]

次の文中の①，②の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

江戸幕府は，直接の支配地と将軍直属の家臣である①(旗本／守護)・御家人の領地と合わせ，全国の石高の約②(2 分の 1／4 分の 1)を保有し，京都，大阪，長崎などの重要都市や各地の鉱山も直接治めた。

(茨城県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 旗本　② 4 分の 1

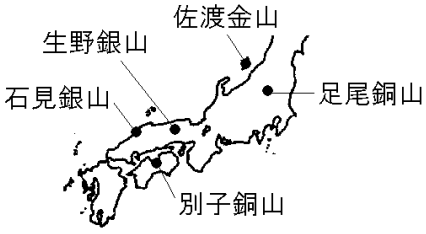
[解説]

幕府の直轄領である幕領は約 400 万石で，直接の家臣である旗本や御家人の領地を合わせると約 700 万石で，全国の石高の約 4 分の 1 近くにおよんだ。

また，大阪(「天下の台所」)，京都(朝廷の所在地)，長崎(海外貿易の港)，奈良などの重要な都市や，佐渡金山(新潟県)や石見銀山(島根県)など国内の主な鉱山を直接に支配し，貨幣の鋳造権も独占していたため，他の大名とはけた違いの経済力をもっていた。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

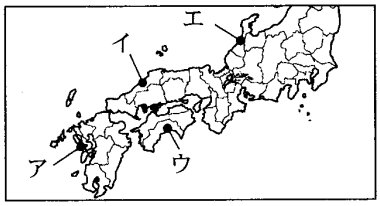
[幕府の圧倒的な経済力]
幕領は400万石
幕領と家臣の領地は全国の $\frac{1}{4}$




[問題]

江戸時代に幕府が直接支配した重要な都市や鉱山の位置として適当なものを，略地図中のア～エから 2 つ選び，記号を書け。

(大分県)




[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]ア，イ

[解説]

アは長崎，イは石見銀山である。

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 佐渡金山の位置を，右の地図中のア～エから選べ。

(2) 江戸幕府が，佐渡金山などのおもな鉱山を直接の支配地とした目的を，簡潔に書け。

(群馬県)

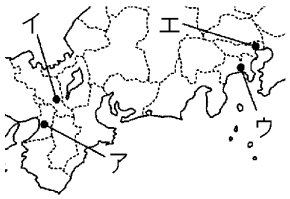
[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | (2) |

[解答](1) ア　(2) 鉱山を幕府の収入源にすること。

[問題]

江戸時代に，朝廷があった場所を右の地図のア～エから1つ選び，記号を書け。




(富山県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

江戸時代に朝廷があったのは京都(地図のイ)である。

【】大名の統制など

[幕藩体制]

[問題]

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

大名とは，将軍から(　①　)石以上の領地をあたえられた武士をいい，大名の領地とその支配のしくみを藩といった。将軍直属の家臣で領地が１万石未満で，将軍に直接会うことができる武士を旗本，直接会うことができない武士を御家人といった。幕府が藩を通じて全国の土地と人々を支配する体制を(　②　)という。

(補充問題)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① １万　② 幕藩体制

[解説]

幕府が藩を通じて全国の土地と人々を支配する体制を幕藩体制という。大名とは １万石以上の領地を与えられた武士である。また，大名の支配する領地とその支配のしくみを藩という。将軍直属の家臣で領地が１万石未満で，将軍に直接会うことができる武士を旗本，直接会うことができない武士を御家人といった。

[幕藩体制]
大名：1万石以上の武士→藩
将軍直属：旗本，御家人

※入試出題頻度：「幕藩体制△」「藩△」「1 万石以上△」

[問題]

大名は，江戸幕府から領地を与えられ，その領地を支配した。大名が，江戸幕府から与えられた領地とその領地を支配するしくみは何とよばれるか。その名称を書け。

(静岡県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]藩

[問題]

藩を治めていた大名とはどのような武士か，領地に着目して簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]将軍から１万石以上の領地を与えられた武士

[大名の分類と配置]

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 大名の中で徳川家の一族を何というか。

(2) 大名の中で，関ヶ原の戦いより前から徳川家の家臣であった大名を何というか。

(3) 江戸時代の大名で，関ヶ原の戦いのころに徳川氏に従った大名を何というか。

(滋賀県改)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| (1) | (2) | (3) |

[解答](1) 親藩　(2) 譜代大名　(3) 外様大名

[解説]

江戸幕府は大名を，将軍家の親戚(しんせき)である親藩(しんぱん)(尾張(おわり)，紀伊(きい)，水戸(みと)は御三家(ごさんけ))，古くから徳川家の家臣であった譜代(ふだい)大名，関ヶ原の戦いのころから徳川氏の家来になった外様(とざま)大名の 3 つに分けた。

[大名の分類と配置]
親藩　：将軍家の親戚，御三家
譜代大名：関ヶ原の戦い以前からの家臣
外様大名：関ヶ原の戦いのころから従った
　└江戸から遠いところに配置

江戸幕府を永続(えいぞく)させるため，全国の領地の 4 分の 1 をしめる圧倒的な実力を背景にして，徹底した大名統制(とうせい)を行った。大名の領地がえを行って，関東，中部，近畿などの重要な所には親藩や譜代大名を配置し，有力な外様大名(外様大名は石高が大きい藩が多かった)は九州，四国，東北など江戸から遠いところに配置し，親藩や譜代大名をその間に配置して外様大名を監視(かんし)させた。

※入試出題頻度：「親藩△」「譜代大名○」「外様大名○」「江戸から遠いところに配置◎」

[問題]

関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は，全国支配の実権をにぎり，幕府の権力を確立させた。幕府は，大名の配置をくふうし，例えば，外様大名に対しては，領地を(　　X　　)こともあった。X にあてはまる文を，右の資料を参考に，「江戸」ということばを用いて，簡潔に書け。

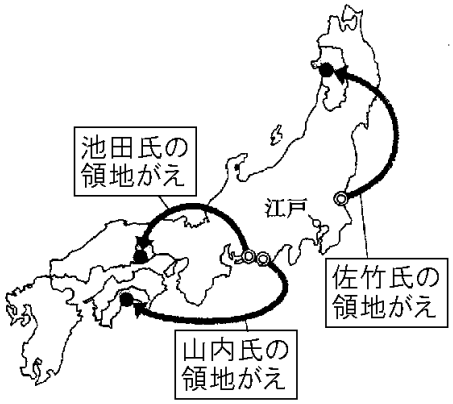
(岐阜県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]江戸から遠い地域に移す

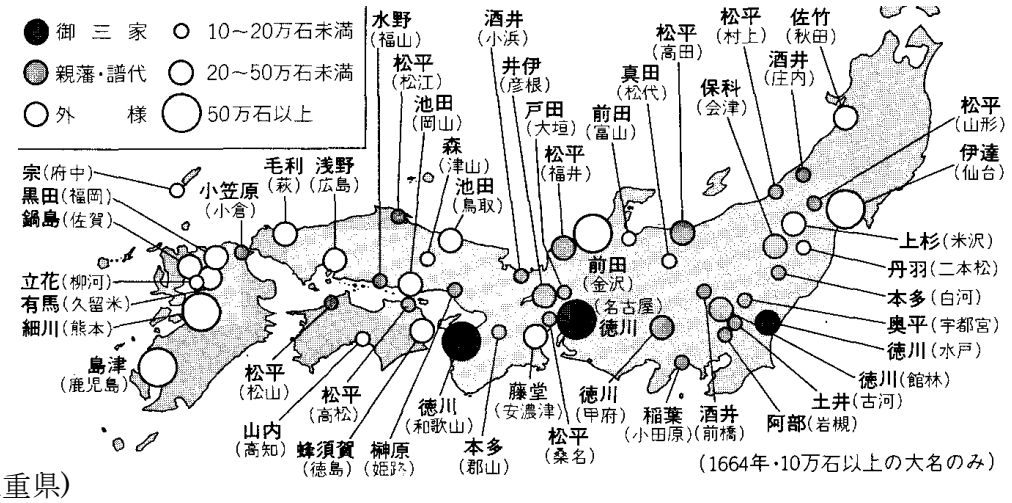
[資料]おもな外様大名の領地がえ




◎は，外様大名の領地がえ前の城の位置，
●は領地がえ後の城の位置をそれぞれ示す。

[問題]

江戸幕府が行った大名配置の特徴を次の地図から読み取り，簡潔に説明せよ。



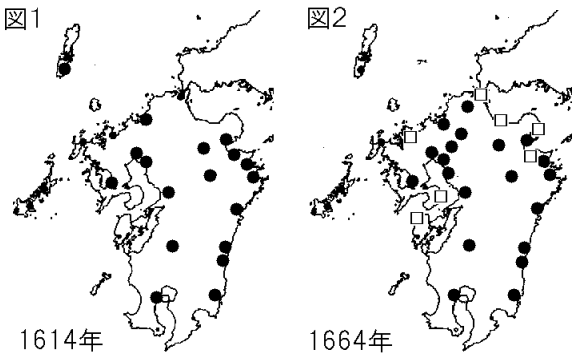

(三重県)

[解答欄]

[解答]関東，中部，近畿などの重要な所には親藩や譜代大名を配置し，有力な外様大名は九州，中国，四国，東北などの遠隔地に配置した。

[問題]

江戸幕府は武家諸法度を定め，法令違反などを理由に大名の領地を削減したり没収したりする一方，それらの領地を別の大名に与えるなどして統制をはかった。図 1 と図 2 は，それぞれ 1614 年と 1664 年における九州の大名配置を示したものであり，●は外様大名に，□は譜代大名に当たる。図 1 と図 2 の大名配置の変化から読み取れる幕府による大名統制上のねらいを書け。




(熊本県)

[解答欄]

[解答]外様大名ばかりであった九州に譜代大名を配置し，外様大名への監視を強化するねらい。

[武家諸法度]

[問題]

　次の資料は江戸時代に将軍が大名に対して出した法令の一部である。この法令を何というか，答えよ。

(資料)

一　城を修理するときは必ず幕府に報告せよ。ましてや新しく城を築いてはならない。

一　幕府の許可なく，結婚してはならない。

(島根県)

[解答欄]

[解答]武家諸法度

[解説]

幕府は，大名を統制するため，武家諸法度(ぶけしょはっと)という法律を定め，新しい城をつくることを禁止し，幕府の許可なく城を修理することを禁止した。また，大名どうしが幕府の許可なしに婚姻(こんいん)を結ぶことを禁止した。

[武家諸法度]
大名を統制するため
新しい城をつくることを禁止
幕府の許可なく城を修理することを禁止

最初の武家諸法度は，第 2 代将軍徳川秀忠(ひでただ)のとき，1615 年に，将軍職を退いていた徳川家康が定めた。以後，将軍がかわるたびごとに出された。

江戸幕府初期には，多くの大名が武家諸法度違反などの理由で処罰(しょばつ)された。たとえば，1619 年，関ヶ原の合戦で功績(こうせき)があった福島正則(ふくしままさのり)は，武家諸法度で禁じられていた城の修築(しゅうちく)を無断で行ったという理由でお家取りつぶしの処罰を受けている。これは，昔からの功労者(こうろうしゃ)であった大名でも法度に背(そむ)けば容赦(ようしゃ)しないという武断政治(ぶだんせいじ)の姿勢を示したものである。

※入試出題頻度:「武家諸法度◎」「大名を統制するため○」「新しい城をつくることを禁止○」「幕府の許可なく城を修理することを禁止○」

[問題]

　次の文は，江戸幕府が定めた武家諸法度について述べたものである。文中の X に適当な言葉を書き入れて文を完成させよ。ただし，「幕府」「城」「修理」の 3 つの言葉を含めること。

　江戸幕府は，武家諸法度という法律を定め，大名が(　　X　　)することを禁止した。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]新しい城をつくることや幕府の許可なく城を修理

[問題]

次は将軍から１万石以上の領地を与えられた大名に対して出された法令の一部である。法令に示された内容に違反した大名や幕府の方針に従わなかった大名は，幕府からどのような処分を受けたかを，簡潔に書け。

(徳川秀忠が定めた法令(一部))

「城を修理するときは，必ず幕府に報告せよ。新たに築城することは固く禁止する。」

(山梨県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]幕府から領地替えや取りつぶしを受けた。

[問題]

次の資料は，江戸幕府が幕藩体制の維持のために定めた法令の条文である。この条文が大名の力を抑えることにつながるのはなぜだと考えられるか，書け。

(資料)

幕府の許可なく，かってに婚姻を結んではならない。

(石川県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]大名同士の関係が婚姻により強くなることを防ぐことができるから。

[参勤交代]

[問題]

江戸時代，大名は１年おきに江戸と領国に住み，江戸と領国との間を往復することが江戸幕府によって決められていた。①この制度は何とよばれているか。②この制度を定めた３代将軍は誰か。

(千葉県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 参勤交代　② 徳川家光

[解説]

大名の参勤(江戸に来ること)には，将軍と大名の主従関係を確認するためという目的があったが，第3代将軍徳川家光は，参勤交代を制度として定め，大名は江戸に妻子を人質として置き，1年おきに領地と江戸を往復することを義務づけた。大名は，往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられ，その結果，各藩の財政は非常に苦しくなり，大名の経済力が弱められた。

[参勤交代]
徳川家光 が定める
1年おきに領地と江戸を往復する
往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられた

※入試出題頻度：「徳川家光○」「参勤交代◎」「1年おきに領地と江戸を往復する◎」「往復の費用や江戸での生活のために多くの出費をしいられた◎」

[問題]

徳川家光の時代に参勤交代の制度が定められた。参勤交代の制度の内容について簡潔に説明せよ。

(新潟県)

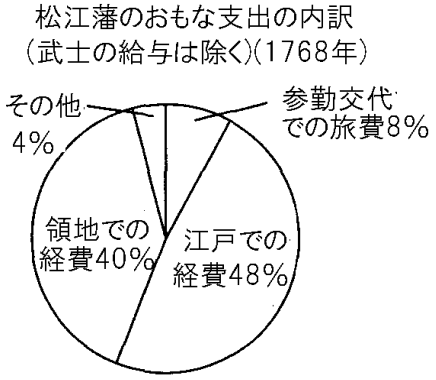
[解答欄]

[解答]大名が1年おきに領地と江戸を往復する制度。

[問題]

徳川家光は参勤交代の制度を定めた。この制度は，各藩に大きな影響をあたえたといわれている。どのような影響をあたえたか，右のグラフを参考にして，簡潔に書け。

(岐阜県)




[解答欄]

[解答]参勤交代による旅費や江戸での経費が，藩の財政にとって大きな負担となった。

[朝廷の統制]

[問題]

江戸幕府は，武家諸法度のほか，朝廷の動きを制限するために，禁中並(　X　)中諸法度と呼ばれる法律を定めた。X に当てはまる最も適当な言葉を書け。

(愛媛県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]公家

[解説]

幕府は，京都所司代(きょうとしょしだい)を置いて朝廷を監視し，禁中並公家中諸法度(きんちゅうならびにくげちゅうしょはっと)という法律で天皇や公家の行動を制限し，政治上の力を持たせなかった。

[朝廷の監視]
禁中並公家中諸法度
京都所司代

※入試出題頻度：「禁中並公家中諸法度△」「京都所司代△」

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

江戸幕府は，朝廷に対しては，天皇や公家の行動を制限するための(　①　)という法律を定めた。また，(　②　)という役所をおいて朝廷の監視をおこなった。

(千葉県改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 禁中並公家中諸法度　② 京都所司代

【】農民の統制

[年貢と農民の統制]

[問題]

年貢の納入や犯罪について農民に共同責任を負わせるためのしくみを何というか。その名称を書け。

(奈良県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]五人組

[解説]

武士の生活は百姓が納める年貢(ねんぐ)でささえられていた。幕府や藩は，四公六民(しこうろくみん 収穫高(しゅうかくだか)の 4 割が年貢で，6 割が百姓の手元に残る)や五公五民(ごこうごみん)という重い年貢を取り立て，財政をまかなった。百姓から安定して年貢を取るために，触書(ふれがき)を出して，「朝には早起きして草を刈り，昼は田畑の耕作をし，･･･」「酒や茶を買って飲んではならない」など百姓の生活のあらゆる面にわたって細かく規制した。また，五人組(ごにんぐみ)の制度をつくり，五戸前後を一組として年貢の納入や犯罪の防止などについて百姓に連帯責任(れんたいせきにん)を負わせた。

[年貢と農民統制]
触書：安定して年貢を取るため
五人組：年貢の納入や犯罪の防止に連帯責任

※入試出題頻度：「五人組○」「年貢納入と犯罪防止に連帯責任△」
「触書：安定して年貢を取るため△」

[問題]

次の文中の①～③に適語を入れよ。

江戸幕府は，百姓から(　①　)を安定して取るために，「朝には早起きして草を刈り，昼は田畑の耕作をし，･･･」など百姓の生活のあらゆる面にわたって細かく規制する法令を出した。また，(　②　)の制度をつくり，五戸前後を一組として(①)の納入や(　③　)の防止などについて百姓に連帯責任を負わせた。

(補充問題)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① 年貢　②五人組　③ 犯罪

[問題]

江戸時代の五人組の制度は，農民に対してどのようなことを防ぐためにつくられたのか，「連帯責任を負わせることで」の文の後に「年貢」と「犯罪」の 2 つの語句を使って答えよ。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]連帯責任を負わせることで，年貢をおさめなかったり，犯罪を起こしたりすることを防ぐため。

[問題]

江戸時代，幕府や諸藩は，農民に対し，土地の売買を禁止し，米以外の作物を栽培することも制限していたが，このような政策をとったのはなぜか。「幕府や諸藩の財政は」という書き出しで説明せよ。

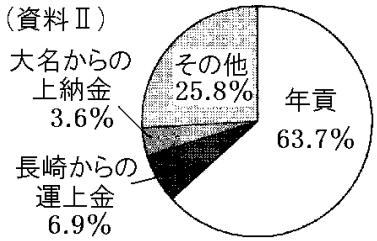
(福島県)

[解答欄]

[解答]幕府や諸藩の財政は，農民が米で納める年貢で支えられていたから。

[問題]

次の資料Ⅰは江戸幕府が出した法令の一部で，資料Ⅱは江戸幕府の収入について表したものである。資料Ⅰのように，幕府がたばこなど米以外の作物を栽培しないようにしたのはなぜか。その理由を，資料Ⅱからわかることにふれて，簡単に書け。




(資料Ⅰ)

「幕領でも，私領でも，本田畑にたばこを栽培しないように申し付ける。」

(岩手県)

[解答欄]

[解答]幕府の主な収入源である年貢を安定して納めさせるため。

[百姓の分類・村役人]

[問題]

次の文中の①，②に適語を入れよ。

江戸時代，村では，土地をもつ百姓(農民)である(　①　)の中から村役人が選ばれ年貢の納入(徴収業務)や村人の監督を行った。また，土地を持たず小作を行う者を(　②　)と呼んだ。(茨城県改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 本百姓　② 水のみ百姓

[解説]

百姓のうち，土地を持つ者を本百姓(ほんびゃくしょう)といい，土地を持たず小作を行う者を水のみ百姓といった。有力な本百姓は庄屋(しょうや)(名主(なぬし))・組頭(くみがしら)・百姓代(ひゃくしょうだい)などの村役人になった。百姓や町人の下に，えた身分・ひにん身分を設けた。これは百姓などに自分たちよりさらに身分の低い者がいることを意識させ，さらに，身分間で反目(はんもく)させて不満をそらすためであった。

※入試出題頻度：「本百姓・水のみ百姓△」「名主(庄屋)・組頭・百姓代△」

[問題]

次のア～エのうち，江戸時代の農村について述べているものを選べ。

ア　用水の管理や山野の利用など，惣のおきてが定められた。

イ　名主(庄屋)・組頭・百姓代などの村役人が年貢の徴収や村の政治にあたった。

ウ　地頭が土地や農民への支配を強め，荘園領主との争いがおこった。

エ　班田収授が行われなくなり，有力な農民が開墾にはげんだ。

(埼玉県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]イ

[解説]

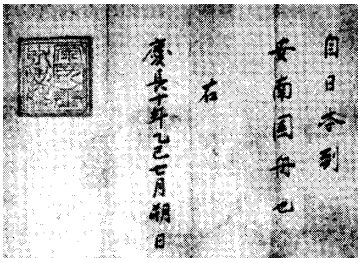
アは室町時代，イは江戸時代，ウは鎌倉時代，エは平安時代である。

【】貿易の振興から鎖国へ

【】朱印船貿易

[問題]

徳川家康は，最初，大名や大商人に海外渡航を許可する右図のような朱印状をあたえて貿易をすすめた。①このような貿易を何というか。②貿易の発展にともない，わが国の人々が主に東南アジア各地に形成し，自治を認められた居住地を何というか。




(鹿児島県改)

[解答欄]

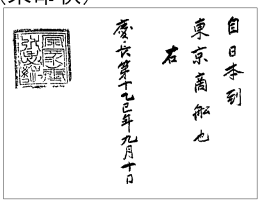
| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 朱印船貿易　② 日本町

[解説]

徳川家康は，最初，大名や大商人に海外渡航を許可する朱印状をあたえて貿易をすすめた。これを朱印船貿易という。西国の大名や京都，堺，長崎などの商人は，朱印船を派遣して貿易を行った。その結果，東南アジア各地に日本人が進出し，日本町がつくられた。タイのアユタヤ(右の地図)で町の指導者となった山田長政が有名である。また，家康は，あらたに来航したオランダやイギリスからの貿易の願いも許した。オランダ，イギリス両国は，平戸(長崎県)に商館を設け，貿易が始まった。輸入品は，中国産の生糸(や絹織物)が中心であった。輸出品としては，銀が中心で，刀や工芸品もあった。

(朱印状)




[朱印船貿易と日本町]
徳川家康
朱印状→朱印船貿易
東南アジアに日本町
輸入品は生糸，輸出品は銀

※入試出題頻度：「朱印状○」「朱印船貿易○」「日本町○」「アユタヤ(地図)△」「輸入品は生糸，輸出品は銀○」

[問題]

次の文の①，②の(　　)内より適語を選べ。

江戸時代初期，大名や商人は，①(朱印状／勘合)とよばれる右の文書によって，わが国の商船であることが証明された船を用いて，貿易を行った。貿易がさかんになるにつれて，多くの日本人が海外にわたり，②(東南アジア／ヨーロッパ)の各地には日本町ができた。

(新潟県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 朱印状　② 東南アジア

[問題]

江戸時代初期，大名や大商人は，徳川家康から渡航の許可を受け，(　X　)とよばれる貿易船を中国や東南アジア各地におくり，活発に海外貿易を展開した。文中のXに適語を入れよ。
(栃木県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]朱印船

[問題]

朱印船貿易と最もかかわりのある人物を，次の[　　]から選べ。

[ 北条時宗　足利尊氏　織田信長　徳川家康 ]

(山口県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]徳川家康

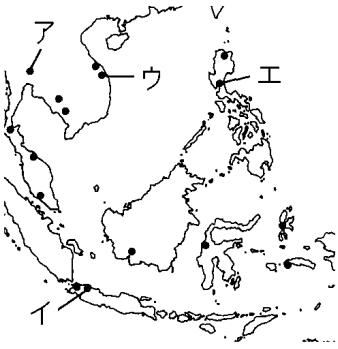
[問題]

次の資料を読んで，後の各問いに答えよ。

(山田長政について) 17 世紀はじめシャム(タイ)に渡って，アユタヤの日本町の指導者となり，シャムの王室の信頼を受け高い位についた。

(日本町について) 17 世紀前半には，朱印船貿易が活発に行われ，東南アジア各地に日本町が形成されるなど，海外に移住する日本人も増えた。江戸幕府が鎖国体制をとると，日本町は急速に衰えていった。

17世紀前半の東南アジアのおもな日本人居住地




(1) 山田長政が活躍したアユタヤの位置を，地図中のア～エから 1 つ選び，記号で答えよ。

(2) 朱印船は秋冬に北から吹く風を利用して日本を出発し，春夏に南から吹く風を利用して東南アジアから帰国した。このように半年ごとで向きが変わる風を何というか。

(山口県)

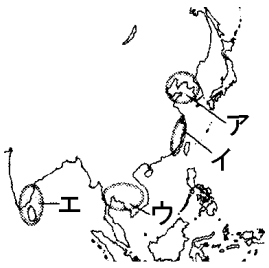
[解答欄]

| (1) | (2) |
|---|---|

[解答](1) ア　(2) 季節風

[問題]

朱印船貿易がさかんだったころ海外に出た日本人が住みついてできた日本町があった地域を右のア～エから１つ選べ。




(長崎県)

[解答欄]

[解答]ウ

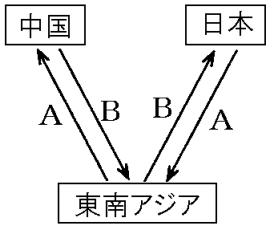
[解説]

シャム(現在のタイ)のアユタヤやカンボジアのプノンペンなどに日本町が形成された。

[問題]

右の資料の A，B に当てはまる語の組み合わせとして適切なものを，次のア～エから選べ。

（資料）朱印船貿易による主な物資の流れ




ア　A：金　B：木綿

イ　A：金　B：生糸

ウ　A：銀　B：木綿

エ　A：銀　B：生糸

(群馬県)

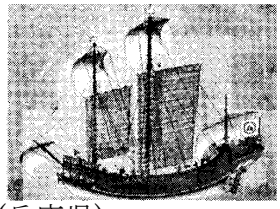
[解答欄]

[解答]エ

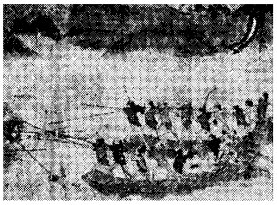
[問題]

「この船は，貿易のため海外に渡航することを許可する朱印状が与えられた船である。多くの日本人が，東南アジア各地に移住し日本町ができた。」これにあてはまる船を次のア～ウから１つ選んで，その符号を書け。

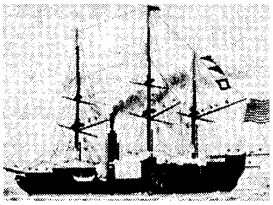
ア



イ



ウ



(兵庫県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

イは室町時代の倭寇。ウは江戸末期のアメリカの黒船。

【】禁教・鎖国

[禁教と貿易統制の強化]

[問題]

　はじめ幕府はキリスト教を黙認していたが，のちに方針をかえて禁教令を出すことになった。その理由について述べた文として正しいものを，次のア～エから１つ選び記号で答えよ。

ア　キリスト教を信仰する民衆が，かつての一向一揆のように幕府に反抗する勢力となることをおそれたため。

イ　アヘン戦争の結果から，諸外国の力を恐れたため。

ウ　朱印船貿易で，多くの日本人が海外に移住するのをくい止めるため。

エ　島原・天草一揆で大きな打撃を受けたので，鎖国体制をさらに強化しようとしたため。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

徳川家康は，最初は海外貿易の利益のために，キリスト教については黙認(もくにん)していた。しかし，この間に全国にキリスト教の信者(しんじゃ)が増加していった。家康は三河(みかわ)の時代に一向一揆(いっこういっき)に苦しめられた経験からキリスト教徒(きょうと)が増えて大きな勢力になり，信者たちが団結して，領主に対して一揆を起こす危険があると考えた。家康は 1612 年，幕領に禁教令(きんきょうれい)を出し，翌年には全国に拡大した。

[禁教と貿易統制の強化]
キリスト教徒の増加
↓
1612年　禁教令
1616年　ヨーロッパ船の来航を長崎と平戸に限定
1624年　スペイン船の来航を禁止
1635年　日本人の海外渡航と帰国を禁止

また， 1616 年にはヨーロッパ船の来航を長崎(ながさき)と平戸(ひらど)に限定して貿易を独占した。第 3 代将軍徳川家光(いえみつ)は，1624 年，スペイン船の来航を禁止した。さらに，1635 年，日本人の海外渡航を全面的に禁止して朱印船貿易を停止するとともに，海外に住む日本人の帰国もいっさい禁止した。長崎の町中に住んでいたポルトガル人を出島に移し，日本人と交流できないようにした。

※入試出題頻度：この単元はときどき出題される。

[問題]

　幕府は，当初，キリスト教を黙認していた。その理由を経済的な面から説明せよ。

(富山県)

[解答欄]

[解答]貿易によってばく大な利益を得ることができたため。

[絵踏]

[問題]

図１は，江戸時代に主に九州地方で行われていた取り調べのようすであり，図２は，その際に使われていたものである。図１のような取り調べを何とよぶか。

(島根県)

図1

図2

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]絵踏

[解説]

幕府は，キリスト教徒を発見するために絵踏(えふみ)を行い，役人の前でキリストや聖母(せいぼ)マリアの像などを踏ませてキリスト教徒でないことを証明させた。絵踏は1629年に始められたが，1637年の島原(しまばら)・天草(あまくさ)一揆(いっき)の後，強化された。なお，絵踏で使われたキリストや聖母マリアの像を刻んだ銅板などを踏絵(ふみえ)という。

[絵踏]
キリスト教徒を発見するため

（絵踏のようす）

※入試出題頻度：「絵踏○」「踏絵△」「キリスト教徒を発見するため◎」

[問題]

大樹さんは，右の写真の板について，その名称と使う目的を調べた。これについて述べた次の文中の①，②に当てはまることばを書け。

この板は(　①　)と呼ばれ，(　②　)を発見したり，(②)ではないことを証明させたりするために使用された。

(岡山県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 踏絵　② キリスト教徒

[問題]

絵踏は，どんなことを調べるために行われたのか。簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

[解答]キリスト教徒を発見したり，キリスト教徒ではないことを証明させるため。

[島原・天草一揆]

[問題]

江戸時代に，右の略地図の X で示した地域で，キリスト教徒への迫害や領主のきびしい支配に苦しんだ人々がおこした事件は何か。

[ 戊辰戦争　島原・天草一揆　応仁の乱　三・一運動 ]

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]島原・天草一揆

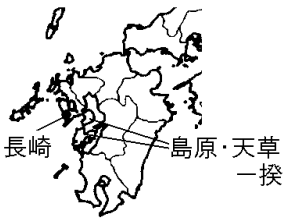
[解説]

1637 年，島原(長崎県)・天草(熊本県)地方のキリスト教徒約 3 万 7 千人が，キリスト教徒(キリシタン)への弾圧や重い年貢の取り立てに反対して島原・天草一揆を起こした(指導者は天草四郎という少年であった)。幕府は 12 万の大軍を送ってようやく一揆をしずめた。

(人むざんなり(1637)島原・天草一揆)

[島原・天草一揆]
キリシタンの弾圧や重い年貢の取り立て
↓
島原・天草一揆
↓
絵踏の強化，宗門改

島原・天草一揆の後，幕府は，キリスト教徒の発見のための絵踏を強化した。また，人々をいずれかの仏教寺院の檀家として所属させ，宗門改によってキリスト教徒でないことを寺院に証明させた。




※入試出題頻度：「キリスト教徒の弾圧や重い年貢の取り立て△」「島原・天草一揆◎」「宗門改△」

[問題]

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

1637 年の島原・天草一揆は，重い年貢を課し信仰を弾圧する領主に対し，(　①　)教の信者が中心となって起こしたものであった。この一揆は，後に幕府が，外国との貿易を制限し，海外との交流を独占する(　②　)とよばれる体制をとる一因となった。

(岩手県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① キリスト　② 鎖国

[問題]

島原・天草一揆には，2 つの要因があった。その 1 つは領主による重い年貢の取り立てであるが，もう 1 つの要因は何か。簡潔に書け。

(奈良県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]キリスト教徒への弾圧

[問題]

次の文章は，島原・天草一揆について述べたものである。文章中の(　　X　　)にあてはまる適当なことばを，「キリシタン」「取り立て」の 2 つの語を用いて，20 字以内(読点を含む)で書け。

島原や天草では，領主による(　　X　　)に苦しんだ人々が，天草四郎という少年を大将にして一揆を起こした。一揆軍は 4 か月にわたり 12 万人余りの幕府軍と戦ったが，鎮圧された。

(千葉県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]キリシタンへの弾圧や重い年貢の取り立て

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

1637 年，重税とキリスト教徒への厳しい弾圧に苦しんだ 3 万 7 千人の人々が，(　①　)という少年を大将にして(　②　)一揆を起こした。(②)一揆に驚いた幕府は，12 万の大軍を送ってようやく一揆をしずめた。その後，キリスト教徒への徹底した弾圧を行い，キリスト教徒の発見のために行う絵踏を強化した。また，(　③　)によってキリスト教徒でないことを寺に証明させた。

(補充問題)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① 天草四郎　② 島原・天草　③ 宗門改

[問題]

島原・天草一揆の結果，江戸幕府はますますキリスト教を警戒し絵踏の制度を強めた。さらにキリスト教の禁止を徹底させるため，寺院に，(　　X　　)を証明させた。文中の X 内に入れる適語を答えよ。

(長崎県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]キリスト教徒でないこと

[問題]

幕府は，宗門改を全国的に制度化し，寺院に宗門改帳をつくらせて人びとが仏教徒であることを証明させた。このできごとがおこった時期に最も近い時期の日本のできごとについて説明したものを，ア～エの中から 1 つ選び，その記号を答えよ。

ア　オランダの商館が，長崎の海に築かれた出島に移された。

イ　ロシア使節のレザノフが長崎に来航し，日本に通商を要求した。

ウ　長崎において，ポルトガルとの貿易が始まった。

エ　田沼意次が，長崎での貿易を活発にするために，海産物の輸出を拡大した。

(神奈川県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]ア

[鎖国]

[問題]

次の年表の内容を示す見出しとして(　X　)に当てはまる語を漢字 2 文字で書け。

| (　X　)への歩み | |
|---|---|
| 年 | おもなできごと |
| 1616 | ヨーロッパ船の来航地を長崎・平戸に制限 |
| 1623 | イギリスが平戸の商館を閉じる |
| 1624 | スペイン船の来航禁止 |
| 1639 | ポルトガル船の来航禁止 |
| 1641 | 平戸のオランダ商館を長崎に移す |

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]鎖国

[解説]

当時，海外進出を行っていたヨーロッパの国の中で，ポルトガルとスペインのカトリックの国は，貿易とともにキリスト教の布教(ふきょう)を行っていた(これらの国は，まず宣教師(せんきょうし)を送りこんで信者(しんじゃ)を増やし，反乱をおこさせて，やがてそこを植民地としてしまうということもやっていた)。すでに 1624 年にスペイン船の来航(らいこう)を禁止していたが，島原(しまばら)・天草一揆(あまくさいっき)後の 1639 年，第 3 代将軍の徳川家光(いえみつ)はポルトガル人の来航を禁止した。当時日本と貿易を行っていたオランダは，キリスト教のプロテスタントの国で，布教は行わず，貿易のみを行っていたので，引き続き貿易を認めることとし，1941 年にオランダ商館を平戸(ひらど)から長崎(ながさき)の出島(でじま)に移した。

[鎖国の完成](徳川家光)
キリスト教の禁止，貿易の利益の独占
1639年 ポルトガル人の来航禁止
1641年 オランダの商館を平戸から長崎の出島に移す
オランダ風説書
清も長崎，唐船風説書，唐人屋敷

(出島)

また，清(しん)(17 世紀の初め中国では明が滅んで清が建国した)の商人も長崎でのみ貿易を認められた。中国人は長崎の中にある唐人屋敷(とうじんやしき)に住まわせられ，奉行の監督下に置かれた。

幕府は，海外の情報を得るため，これらの情勢を文書にまとめて提出することをオランダ人に義務づけた(オランダ風説書(ふうせつがき))。中国船からもさまざまな情報を聞き取り，風説書を作った。

このような幕府による禁教，貿易統制，外交独占の体制を鎖国(さこく)と呼ぶ。(一路鎖国(1639))

※入試出題頻度：「ポルトガル人の来航禁止◎」「鎖国○」「キリスト教の禁止△」「貿易の利益の独占△」「オランダ◎」「長崎(地図)の出島◎」「オランダ風説書△」「海外の情報を得るため○」「中国(清)○」

[問題]

次の文章中の①～③の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

16 世紀半ば以降，①(プロテスタント／カトリック教会)の宣教師が来航してキリスト教を布教したので，日本におけるキリスト教徒の人数が増えた。江戸幕府は，貿易の利益のために布教を初め黙認していたが，キリスト教徒が幕府の支配に抵抗することを恐れ，キリスト教の禁教とともに貿易の②(拡大／制限)に乗り出した。その後，スペインやポルトガルの船が来航を禁止されるなか，当時日本と貿易を行っていたヨーロッパの国の中で③(オランダ／イギリス)が日本と貿易を続けることになった。

(茨城県)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① カトリック教会　② 制限　③ オランダ

[解説]

スペインやポルトガルはカトリックの国で，貿易と共にキリスト教の布教を行っていた。これに対し，オランダはプロテスタントの国で貿易のみを行った。

[問題]

オランダは鎖国下の日本で，貿易を許された唯一のヨーロッパの国であった。オランダが日本との貿易を許された理由を，宗教に着目して簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]キリスト教の布教を行わなかったから。

[問題]

江戸幕府はキリスト教の禁止と貿易統制のため鎖国を推し進め，3 代将軍(　X　)のとき鎖国の体制が固まった。X に適する人物名を答えよ。

(福井県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]徳川家光

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

島原・天草一揆が起こると，幕府はキリスト教の取り締まりをいっそう強めるとともに，1639 年には(　①　)船の来航を禁止し，1641 年にはオランダ商館を長崎の出島に移した。その結果，日本に来る貿易船は，オランダ船と(　②　)船だけになった。こうして，(　③　)が完成した。

(徳島県改)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① ポルトガル　② 中国　③ 鎖国

[問題]

江戸幕府が鎖国を行った理由として，あてはまらないものを 1 つ選んで記号を書け。

ア　キリスト教徒の勢力拡大を防ぐため。

イ　外国との関係や海外からの情報を統制するため。

ウ　産業革命が始まったヨーロッパからの工業製品の輸入を制限するため。

エ　西国大名が外国との貿易によって経済力を強め，幕府に対抗することを防ぐため。

(秋田県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]ウ

[解説]

鎖国は 17 世紀，産業革命は 18 世紀なので，ウが誤り。

[問題]

幕府は長崎だけで貿易を行ったが，その相手国として正しい組み合わせはどれか，ア～エから 1 つ選べ。

ア　中国と朝鮮

イ　朝鮮とポルトガル

ウ　ポルトガルとオランダ

エ　オランダと中国

(徳島県)

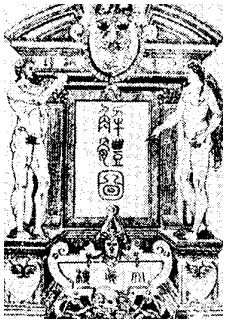
[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]エ

[問題]

次の写真は，「解体新書」の扉絵である。この本と関係が深い国は，江戸時代に長崎の出島で貿易が許されていた。①その国名を書け。②また，その国の位置を示しているものを地図のア～エから１つ選び，その記号を書け。



(長崎県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① オランダ　② ウ

[問題]

次の文の①，②の(　　)内より適語を選べ。

わが国は，鎖国の間も①(ポルトガル／スペイン／オランダ)とだけでなく，中国や朝鮮とも貿易を行った。(①)や中国との貿易は②(鹿児島／長崎／浦賀)で行われ，朝鮮との貿易は対馬が拠点となって行われた。

(福岡県)

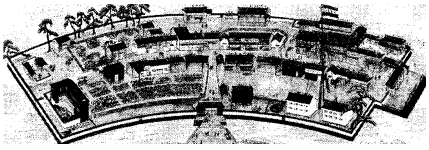
[解答欄]

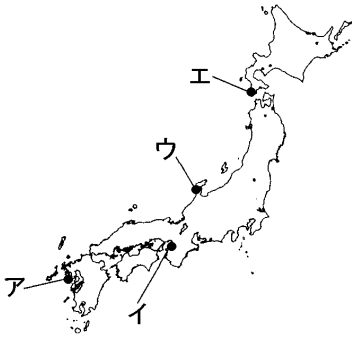
| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① オランダ　② 長崎

[問題]

幕府は，ある都市に設けられた右図のような人口島にオランダの商館を移して，日本人との接触を制限する一方，オランダから世界の情勢をまとめた報告書を提出させた。次の各問いに答えよ。






(1) この人工島を何というか。

(2) (1)が設けられた「ある都市」の位置を右の地図中のア～エのうちから１つ選び，その符号を書け。

(3) 「オランダから世界の情勢をまとめた報告書を提出させた」とあるが，これを何というか。

(千葉県・北海道)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| (1) | (2) | (3) |

[解答](1) 出島　(2) ア　(3) オランダ風説書

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 鎖国下での長崎での貿易におけるわが国のおもな輸入品を，次から 1 つ選べ。

[ 銀　生糸　米　海産物　銅 ]

(2) 中国やオランダとの窓口であった長崎は，幕府の直接的な支配地であった。このような幕府の直轄地を何というか。

(熊本県・宮城県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | (2) |

[解答](1) 生糸　(2) 幕領

[問題]

江戸時代に国内の鉱山で採掘された銅は，大阪で精錬された後，その多くが長崎に運ばれた。17 世紀後半から 19 世紀前半までの間に銅が長崎に運ばれたおもな目的を，関連する外国を 2 か国あげて簡潔に書け。

(大阪府)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]中国やオランダに輸出するため。

[問題]

A～D を古い順に並べよ。

A　徳川家光は，日本人の海外渡航と海外からの帰国を禁止した。

B　江戸幕府は，平戸のオランダ商館を長崎の出島に移した。

C　徳川家康は，幕府領でキリスト教を禁止した。

D　島原・天草のキリスト教徒の農民などが，一揆を起こした。

(三重県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]C→A→D→B

[解説]

C(禁教令 1612 年)→A(海外渡航等の禁止 1635 年)→D(島原・天草一揆 1637 年)
→B(オランダ商館を長崎の出島に移す 1641 年)

[問題]

近世初期の外交について述べた次のア～ウの文を，年代の古い順に並べて記号で答えよ。

ア　九州で島原・天草一揆が起こり，幕府はこの一揆をしずめた後，ポルトガル船の来航を禁止した。

イ　幕府は外国と貿易する大名や豪商に,朱印状という証書を与えて貿易を認めるかわりに,収入の一部を幕府に納めさせた。

ウ　ヨーロッパから鉄砲や火薬などがもたらされ，日本からは石見銀山で産出された銀などが輸出される南蛮貿易が始まった。

(島根県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→ア

【】鎖国下の対外関係

[朝鮮との関係]

[問題]

徳川家康の時代に対馬藩のなかだちによって朝鮮との国交が回復し，その後，将軍の代がわりごとに 400～500 人の使節が江戸をおとずれるようになった。この朝鮮からの使節を何というか。

(三重県)

[解答欄]

[解答]朝鮮通信使

[解説]

豊臣秀吉(とよとみひでよし)の文禄(ぶんろく)・慶長(けいちょう)の役(えき)の後，朝鮮との国交(こっこう)はとだえていたが，対馬藩(つしまはん)の努力で，1609 年，徳川家康(とくがわいえやす)のときに国交が回復した。その後，将軍の代がわりごとに，朝鮮から朝鮮通信使(ちょうせんつうしんし)という使節(しせつ)が訪れた。対馬藩は朝鮮との国交の実務を担当するかわりに，朝鮮との貿易を許可されて，銀や銅などを輸出し，生糸，絹織物(きぬおりもの)，朝鮮にんじんなどを輸入した。

[朝鮮との国交と貿易]
対馬藩
朝鮮通信使という使節
(将軍の代がわりごと)

※入試出題頻度：「対馬藩(地図)◎」「朝鮮○」「将軍の代がわりごとに○」「朝鮮通信使◎」

[問題]

鎖国中に幕府が対馬藩を通じて国交を結んでいた国を，次から 1 つ選べ。

[ 朝鮮　オランダ　中国　イギリス ]

(島根県)

[解答欄]

[解答]朝鮮

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 江戸時代に，日本の窓口として，朝鮮との貿易や国交の実務を行った藩はどこか。次から 1 つ選べ。

[ 土佐藩　薩摩藩　松前藩　対馬藩 ]

(2) 将軍の代がわりなどの際に朝鮮からの使節が江戸を訪れた。朝鮮からのこの使節は何と呼ばれたか。

(山口県・大阪府)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | (2) |

[解答](1) 対馬藩　(2) 朝鮮通信使

[問題]

右の資料は，江戸時代に朝鮮から江戸へ派遣された使節を描いたものである。①この使節の名称と，②この使節が主にどのようなときに派遣されたかを簡潔に書け。

(高知県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 朝鮮通信使　② 将軍が代わったとき。

[問題]

「鎖国」と呼ばれる体制のもとで，ある藩には朝鮮との貿易が認められていた。①右の地図のア～エのうち，その藩が治めていた島を１つ選び，その符号を書け。②また，その島の名称を書け。

(石川県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① イ　② 対馬

[琉球との関係]

[問題]

薩摩藩に事実上支配されながら，中国にも朝貢していた国の名を書け。

(岐阜県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]琉球王国

[解説]

17 世紀の初め，琉球王国は薩摩藩に征服された。幕府がこの国を異国と位置づけたため，国際的には独立国で，明や清にも朝貢し，貿易も行っていた。薩摩藩は，きびしく監督をしたり，中国や東アジアとの貿易を，薩摩藩の管理の下で続けさせたりして利益を得た。また，薩摩藩は，将軍や琉球王国の国王に代がわりがあると，使節を江戸に連れてきて，将軍にあいさつさせた。これを琉球使節という。

[琉球王国]
薩摩藩の支配下
琉球使節

※入試出題頻度：「琉球王国◎」「薩摩藩〇」

[問題]

江戸時代に琉球王国を事実上支配して，大きな利益を得ていた藩として，正しいものを，次から 1 つ選べ。

[ 薩摩藩　松前藩　土佐藩　長州藩 ]

(宮城県)

[解答欄]

[解答]薩摩藩

[問題]

江戸時代における琉球の状況を説明した文として適切なものを，次のア～エの中から 1 つ選び，その記号を書け。

ア　琉球は，独立した王国として，薩摩藩と対等な貿易をしていた。

イ　琉球は，薩摩藩に服属しながらも，清とは対等な貿易をしていた。

ウ　琉球は，薩摩藩に事実上支配されながら，清にも貢ぎ物をおくっていた。

エ　琉球は，清に貢ぎ物をおくりながらも，薩摩藩とは対等に貿易をしていた。

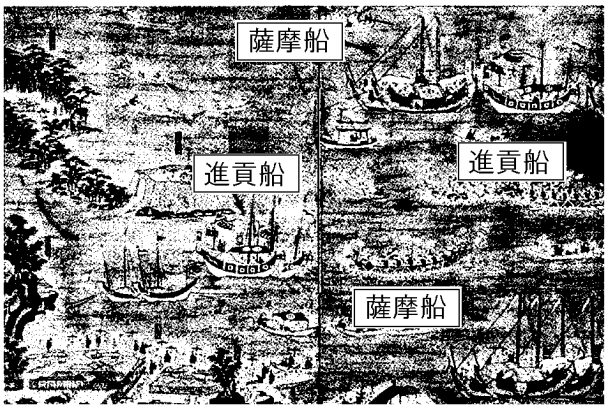
(青森県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

次の図は，江戸時代の那覇港のようすをえがいたものである。江戸時代の琉球王国は，薩摩藩や中国とそれぞれどんな関係にあったのか，図を参考にして，説明せよ。




(熊本県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]琉球王国は薩摩藩に服属していた。一方，中国に朝貢して貿易をおこなっていた。

[蝦夷地]

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

北海道は，江戸時代には(　①　)地と呼ばれていた。(①)地の南部に領地をもつ(　②　)藩は，(　③　)民族との取引を独占し大きな利益を得た。17 世紀後半，シャクシャインを中心とした蜂起があった。

(福島県改)

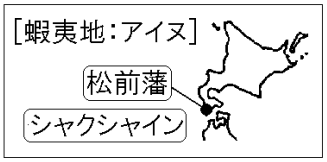
[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① 蝦夷　② 松前　③ アイヌ

[解説]

蝦夷地(えぞち)にはアイヌ人が住んでいたが，蝦夷地南部に領地をもつ松前藩(まつまえ)は，アイヌの人たちと，米などを鮭などと交換し暴利を得ていた。



シャクシャイン

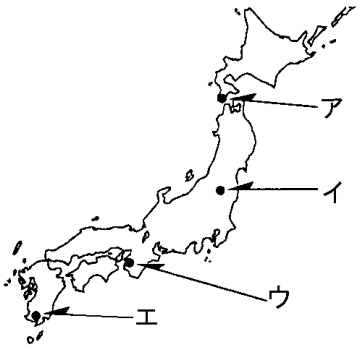
これに不満をいだいたアイヌの人々は 17 世紀の後半，シャクシャインを指導者として戦いを起こした。松前藩は幕府に助けを求めて，ようやくこれをしずめた。

※入試出題頻度 :「蝦夷地△」「アイヌ△」「シャクシャイン○」「松前藩○」

[問題]

次の文中の①，③に適語を入れよ。また，②の(　　)内から適語を選べ。

右の地図中の(　①　)にあった松前藩は，アイヌの人たちと，米などを②(生糸／鮭)などと交換し暴利を得ていた。そのため，1669 年に(　③　)を指導者とするアイヌの人たちは戦いを起こした。




(北海道・香川県)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① ア　② 鮭　③ シャクシャイン

[問題]

蝦夷地(北海道)の交易に関する次のア～エのうち，誤っているものを1つ選び記号で書け。

ア　アイヌは樺太をへて中国の東北部とも交易し，毛皮を売って蝦夷錦などを得ていた。

イ　17 世紀初め，会津藩は，江戸幕府からアイヌとの独占的な取引を認められた。

ウ　17 世紀後半，和人との不利な取引に反発し，シャクシャインが反乱をおこした。

エ　昆布は蝦夷地から西廻り航路をへて琉球にも運ばれ，琉球から中国に輸出された。

(山梨県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イが誤り。アイヌとの独占的な取引を認められていたのは，松前藩である。

[問題]

蝦夷地に住むアイヌの人々は，シャクシャインを中心に松前藩と戦った。アイヌの人々は，なぜ松前藩と対立するようになったのか，次の資料を参考に説明せよ。

(資料)松前藩がアイヌの人々に示した交易の条件

アイヌの干鮭と松前藩の米の交換について，「干鮭 100 本を米約 30 キロと交換」から「干鮭 100 本を米約 10 キロと交換」に変更する。

(島根県)

[解答欄]

[解答]松前藩がアイヌの人々に不利な取引を要求したから。

[朝鮮・琉球・蝦夷地全般]

[問題]

江戸幕府は貿易を統制し，日本人の出入国を禁止した。その後は，4 つの窓口(長崎，対馬藩，薩摩藩，松前藩)において，外交や貿易がおこなわれた。4 つの窓口(①長崎，②対馬藩，③薩摩藩，④松前藩)のそれぞれと関係の深い語として最も適切なものを，次の[　　]からそれぞれ 1 つずつ選べ。

[ シャクシャイン　千利休　楽市・楽座　琉球王国　オランダ　五街道　朝鮮通信使　菱垣廻船 ]

(山口県)

[解答欄]

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |

[解答]① オランダ　② 朝鮮通信使　③ 琉球王国　④ シャクシャイン

[問題]

①文中の a～c の中にあてはまる語の組み合わせとして正しいものを，ア～カの中から 1 つ選んで，その記号を書け。②また，d にあてはまる語を書け。

日本と外国との交流は，鎖国下においても続けられた。(　a　)藩は，アイヌの人たちとの交易を独占し，アイヌの人たちは，蝦夷地の産物だけでなく，ロシアや中国東北部の産物をもたらした。(　b　)藩は，朝鮮との国交の実務を担当するとともに，朝鮮との貿易を許された。薩摩藩は，(　c　)を支配し，中国との貿易を続けさせて利益を得た。また，オランダの商館は，(　d　)につくられた出島に移され，中国船とオランダ船のみが(d)に限って貿易を許された。

ア a 琉球　b 対馬　c 松前

イ a 琉球　b 松前　c 対馬

ウ a 対馬　b 松前　c 琉球

エ a 対馬　b 琉球　c 松前

オ a 松前　b 琉球　c 対馬

カ a 松前　b 対馬　c 琉球

(茨城県)

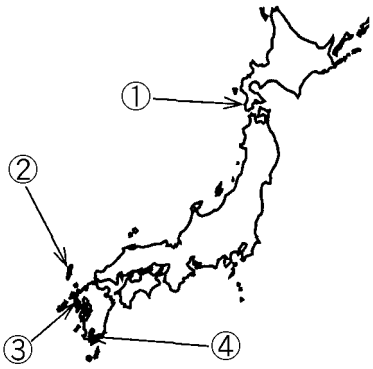
[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① カ　② 長崎

[問題]

江戸に幕府があった時代は「鎖国」がおこなわれていたが，国が完全に閉ざされたわけではなく，外国に対して 4 つの窓口は開かれていた。この 4 つの窓口に関係するできごとをあらわした a～d と，その窓口の場所を示す右図中の①～④の組み合わせとして正しいものをあとのア～エより 1 つ選び，記号で答えよ。




a 交易の対立からシャクシャインの乱が起こった。

b 朝鮮通信使が江戸へ派遣された。

c 琉球王国の使節を江戸へ派遣させた。

d オランダ風説書が幕府へ提出された。

ア：a－①，b－③，c－②，d－④

イ：a－②，b－③，c－④，d－①

ウ：a－②，b－④，c－①，d－③

エ：a－①，b－②，c－④，d－③

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

幕府の許可を受けて，朝鮮，琉球，蝦夷地のいずれかと直後かかわっていた藩として，あてはまらないのは，次のうちではどれか。

[ 松前藩　土佐藩　薩摩藩　対馬藩 ]

(岡山県)

[解答欄]

[解答]土佐藩

【】産業・都市・交通路の発達

【】農業や諸産業の発達

[新田開発]

[問題]

1600 年から 100 年ぐらいの間に耕地面積が大幅に増加したが，その理由を書け。

(石川県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]新田開発がさかんに行われたから。

[解説]

幕府や藩は，年貢の増収を図り財政を豊かにするために新田開発を行った。すなわち，大規模な用水路をつくって水を引き，荒れ地を開墾して田畑の面積を広げ，有明海や児島湾，広い沼地を干拓したりして新田開発を行った。その結果，田畑の面積は豊臣秀吉のころから 100 年の間に約 2 倍になった。大規模な用水路建設を可能にしたのは，戦国時代から近世にかけての築城で使われた測量・掘削などの技術革新であった。

[新田開発]
年貢の増収を図り
財政を豊かにするため
干拓などで
耕地面積が約2倍

※入試出題頻度：「新田開発○」「年貢の増収を図り財政を豊かにするため○」

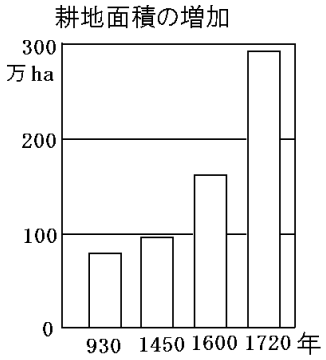
[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 右のグラフから，1720 年ごろの全国の耕地面積は，安土・桃山時代の終わりに比べて約何倍になっているか。整数で答えよ。

(2) 右のグラフのように，耕地面積が増えたもっとも大きな理由は何か。漢字 4 文字で答えよ。

(3) (2)のため，有明海や児島湾などではどのようにして土地を広げたか。漢字 2 文字で答えよ。




(補充問題)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| (1) | (2) | (3) |

[解答](1) 約 2 倍　(2) 新田開発　(3) 干拓

[問題]

幕府や藩が，新田開発を行った理由を，「年貢」「財政」の語句を用いて，簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]年貢の増収を図り，財政を豊かにするため。

[農具の進歩]

[問題]

夏子さんは，資料館で江戸時代の村人が協力して稲を収穫する様子を描いた図を見た。右は，その作業の一部である。図中で脱穀に用いられている農具を何というか。

(岡山県)

[解答欄]

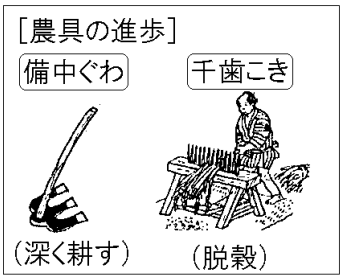
| |
|---|
| |

[解答]千歯こき

[解説]

江戸時代になって，備中(びっちゅう)ぐわ(土を深く耕すことを可能にした)，千歯(せんば)こき(もみを稲穂からとる(脱穀(だっこく))などの農具が普及し，作業の能率や生産性が上がった。

※入試出題頻度：「備中ぐわ○」「千歯こき◎」




[問題]

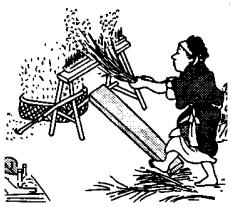
次の文章中の①～③に適語を入れよ。

田畑を(　①　)という利点がある資料 1 の(　②　)や脱穀を効率的にする資料 2 の(　③　)など新しい農具が広く使用されるようになって，作業の能率や生産性が上がった。

(鹿児島県改)

資料1

資料2



[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| ① | ② | ③ |

[解答]① 深く耕すことができる　② 備中ぐわ　③ 千歯こき

[問題]

江戸時代に右の資料のような農具が考案されたが，この農具によりどのような農作業が効率化されたか。

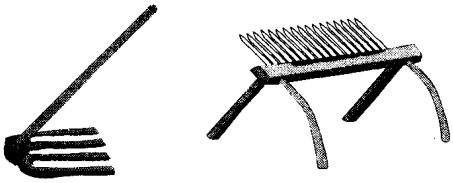
(石川県)

[解答欄]

[解答]もみを稲穂からとる作業

[問題]

江戸時代，商業や工業とともに，農業が発達した。右の資料の農具は，この時代に用いられるようになったものである。これらは農業の発達にどのような役割を果たしたか，簡潔に書け。



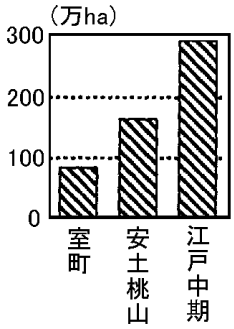
(群馬県)

[解答欄]

[解答]農作業を効率的にし，生産性を向上させる役割を果たした。

[問題]

次の資料から読み取れる，江戸時代の農業の発展のようすを簡潔に書け。



(奈良県)

[解答欄]

[解答]農具の発明や改良によって生産性が上がり，また，新田開発などにより耕作地面積が増えた。

[問題]

江戸時代の農業や農民のくらしについて述べたものとして，最も適切なものを，次のア～エの中から１つ選び，その記号を書け。

ア　6歳以上の男女には口分田が与えられ，その面積に応じて租を負担するようになった。

イ　米と麦を交互に作る二毛作を行うようになり，草や木の灰を肥料に用いるようになった。

ウ　農具が改良され，土を深く耕すことができる備中ぐわなどが広く使われるようになった。

エ　有力な農民を中心に村ごとにまとまり，惣とよばれる自治組織を作るようになった。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは奈良時代，イは鎌倉時代，ウは江戸時代，エは室町時代である。

[商品作物]

[問題]

江戸時代の農民の中には，干鰯を購入し，綿やあぶらななどの作物の肥料にする者もいた。綿やあぶらななど，売ることを目的に栽培された作物を何というか。その名称を書け。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]商品作物

[解説]

生産力が高まって余裕が生まれると，農村では年貢となる米以外にも，織物の原料となる綿花，菜種(なたね)油の原料になるあぶらな，染料(せんりょう)に使うあいや紅花(べにばな)などの商品作物の栽培が広まった。このような商品作物を売って貨幣を得るようになった。農民は，油をしぼったかすや干鰯(ほしか)などの肥料(金肥(きんぴ))を購入し，生産力を高めた。

[商品作物]
麻，わた，あぶらな，あい，べにばな

※入試出題頻度：「商品作物○」

[問題]

農民は，現金収入を得るために商品作物を栽培した。農民は，油をしぼったかすや干鰯などの(　X　)を購入し，生産力を高めた。Xに当てはまる適切な語句を，漢字2字で書け。

(長野県)

[解答欄]

[解答]肥料(金肥)

[問題]

F 班の調べた内容について，江戸の町のようすを調べるうちに，し尿などの排泄物を馬で集めに来た農民を示した，右の資料を見つけた。農民が，し尿などの排泄物を集めに行ったのはなぜか, その理由の 1 つとして考えられることを書け。

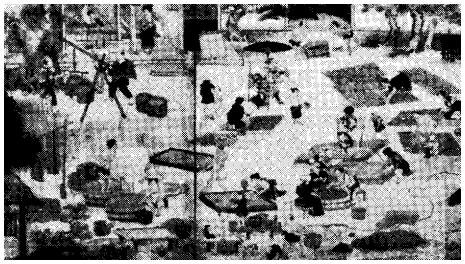
(三重県)

[解答欄]

[解答]肥料として使うため。

[問題]

江戸時代には，さまざまな産業が発達し，各地に特産物が生まれた。右図は，染料として使用される最上地方(山形県)の特産物を加工しているようすである。この特産物を何というか，[　　]の中から 1 つ選べ。



[ 紅花　麻　綿　油菜 ]

(茨城県)

[解答欄]

[解答]紅花

[問題]

次のア～エのうち，江戸時代の農業技術の発達の具体例として適切なものはどれか。2 つ選び，その記号を書け。

ア　同じ田畑で米と麦を作る二毛作が行われるようになった。

イ　脱穀のために使われる千歯こきが発明された。

ウ　肥料として草木の灰や牛馬のふんや堆肥が使われるようになった。

エ　干したイワシが肥料として取り引きされ，使われるようになった。

(広島県)

[解答欄]

[解答]イ，エ

[解説]

アとウは鎌倉～室町時代。

[問題]

江戸時代の農村にみられる様子についての説明として，誤っているものはどれか。

ア　千歯こきや備中ぐわなどの農具が使用された。

イ　農民による荘園領主への抵抗や土一揆がおこった。

ウ　綿などの商品作物がつくられた。

エ　幕府や藩によって新田開発が進められた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イは室町時代。

[問題]

江戸時代，農村では綿花，あぶらな，野菜などの生産に力を入れるようになった。その理由を，資料から読み取れることを含めて書け。

(資料)

昔は村々ではたいへん銭が不足して，一切のものを銭では買わず，皆，米や麦で買っていたことを，私は田舎で見て覚えている。近年の様子を聞くと，元禄のころから田舎へも銭が行きわたって，銭で物を買うようになった。

(石川県)

[解答欄]

[解答]農村でも貨幣で物を買うようになったので，綿花，あぶらな，野菜などを作って売り，貨幣を手に入れようとしたから。

[水産業]

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 江戸時代，水産業では網が改良され，九十九里浜(千葉県)で大規模な漁が行われた。その漁として最も適切なものを，次の[　　]の中から１つ選べ。

[ くじら漁　かつお漁　いわし漁　にしん漁 ]

(2) (1)でとれた魚は何というという肥料に加工され，近畿地方などの綿作地域に売られたか。

(和歌山県改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | (2) |

[解答](1) いわし漁　(2) 干鰯

[解説]

水産業では，網が改良されて大量漁獲が可能になった。九十九里浜(千葉県)では，このような網を使った大規模ないわし漁がおこなわれるようになった。いわしは干鰯という肥料に加工されて，近畿地方などの綿作地帯に売られた。蝦夷地では，にしん漁やこんぶ漁が発達した。にしんやこんぶは，蝦夷地の松前藩がアイヌの人々から米や鉄器などとの交換で得ていた。紀伊や土佐では捕鯨やかつお漁がさかんになった。

[水産業]
網の改良→大量漁獲が可能に
九十九里浜：いわし→干鰯
蝦夷地：こんぶ，にしん
紀伊や土佐：捕鯨やかつお

※入試出題頻度：「九十九里浜でいわし漁→干鰯○」

[問題]

江戸時代の産業について適当でないものを次のア～エから１つ選んで記号で答えよ。

ア　土地を深く耕せる備中ぐわや，脱穀のための千歯こきなどの農具が使用された。

イ　陸路では馬借，港町では問とよばれる業者が活動した。

ウ　染料に使う藍や紅花などの商品作物の栽培が広まっていった。

エ　九十九里浜(千葉県)では大規模ないわし漁が行われるようになった。

(島根県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イは室町時代。

[問題]

江戸時代の九十九里浜では，鰯漁が盛んにおこなわれていた。その主な理由の１つに，綿(綿花)などの商品作物の栽培が盛んになったことがあげられる。鰯は，綿(綿花)などの商品作物の栽培においてどのように用いられたか。簡単に書け。

(香川県)

[解答欄]

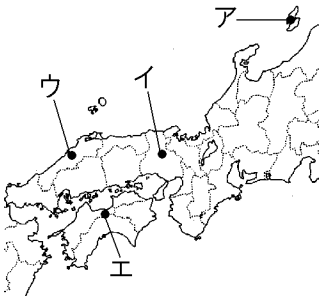
| |
|---|
| |

[解答]肥料として用いられた。

[鉱業]

[問題]

江戸時代，佐渡金山，生野銀山，石見銀山などの開発が進み，幕府は，産出された金銀から貨幣をつくり流通させた。①佐渡金山，②石見銀山があったおおよその位置を，右の略地図のア～エからそれぞれ選べ。



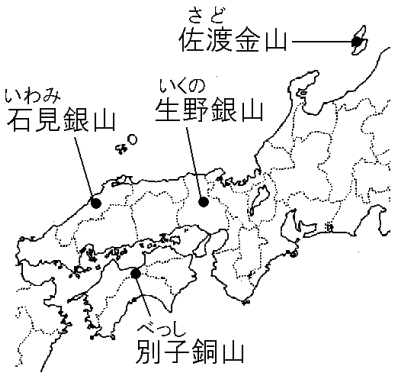

(北海道改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① ア　② ウ

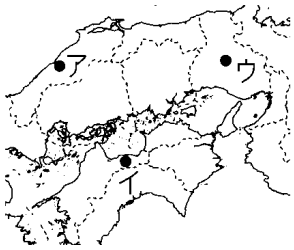
[解説]




※入試出題頻度：「佐渡金山(地図)△」「石見銀山(地図)○」「生野銀山(地図)△」「別子銅山(地図)△」

[問題]

江戸時代には，農業だけでなく，鉱業など他の諸産業も発達した。次の①，②の鉱山が位置する場所を，右の地図中のア～ウからそれぞれ 1 つずつ選べ。




① 生野銀山　② 別子銅山

(大阪府)

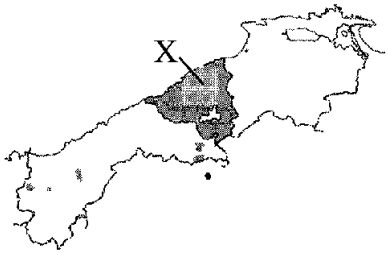
[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① ウ　② イ

[問題]

次の略地図にある X の地域が，江戸幕府により幕領(直轄地)とされた目的の 1 つを，写真が何かを明らかにして，25 字以内で答えよ。



(島根県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]石見銀山でとれる銀を用いて，銀貨をつくるため。

【】都市の繁栄

[大阪：天下の台所]

[問題]

江戸時代，江戸が「将軍のおひざもと」とよばれたのに対し，商業都市として栄え大名たちが蔵屋敷をおいた大阪は何とよばれたか。

(滋賀県)

[解答欄]

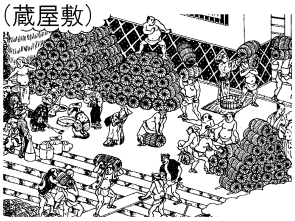
| |
|---|
| |

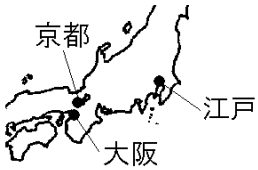
[解答]天下の台所

[解説]

各地の大名は，大阪(おおさか)に蔵屋敷(くらやしき)をおいて年貢米や特産品を販売して藩(はん)の財政をまかなった。大阪は，全国の商業や金融(きんゆう)の中心として栄えた商業都市で，「天下の台所(てんかのだいどころ)」と呼ばれた。

[ 大阪 ]
蔵屋敷←年貢米や特産物
天下の台所（商業･金融の中心）




※入試出題頻度：「大阪(地図)○」「蔵屋敷◎」「年貢米や特産物が運び込まれた○」「天下の台所○」「商業・金融の中心○」

[問題]

江戸時代に「天下の台所」と呼ばれた都市はどこか。①その都市名を答えよ。②また，その都市の場所を，右の地図中の a～d から選べ。

(長崎県)

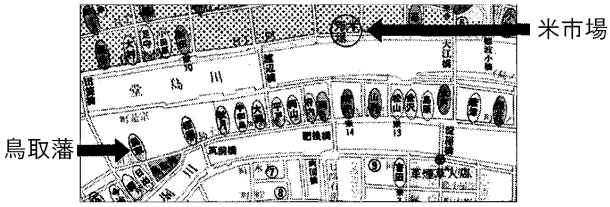
[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 大阪　② c

[問題]

右の地図は，江戸時代の大阪の米市場周辺を示したものである。地図をみると，米市場の周辺には鳥取藩をはじめとする諸藩の施設が多くあったことがわかる。諸藩の年貢米や特産物が運びこまれたこの施設を何というか。




(鳥取県)

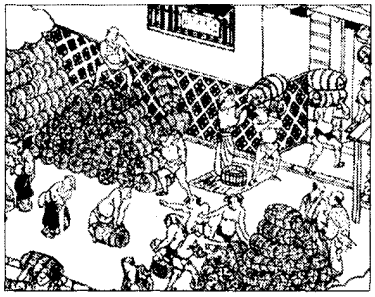
[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]蔵屋敷

[問題]

江戸時代には，全国から米や特産物が大阪に運びこまれた。次の各問いに答えよ。



(1) 運び込まれたものを保管するため，諸藩が設けた右の絵のような施設を何というか。

(2) 全国の大名が，集めた年貢米や特産物を大阪に運んだのは，どのような目的があったからか。

(宮崎県・石川県)

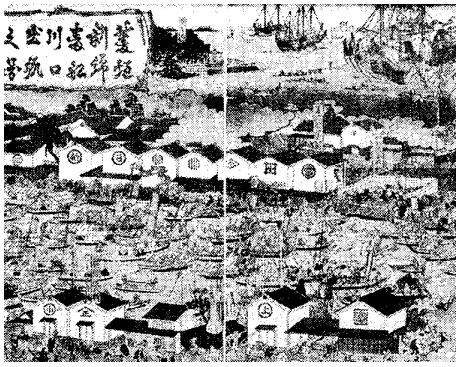
[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | (2) |

[解答](1) 蔵屋敷　(2) 年貢米や特産物を売る目的。

[問題]

次の資料は，多くの蔵屋敷がおかれ，「天下の台所」とよばれた大阪の港のようすである。大阪が商業の中心地として栄えた理由を，主に蔵屋敷に運びこまれたものを明らかにして書け。



(鹿児島県)

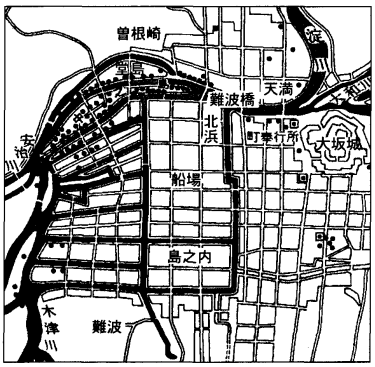
[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]全国から大量に運びこまれた各藩の年貢米や特産物が取り引きされたから。

[問題]

次の図は大阪の町の一部を表した略地図であり，●は，諸藩が設けた蔵屋敷の位置を示している。蔵屋敷がその場所に設けられた理由を，水路に着目して簡潔に書け。




地図中 ━━ は水路を表す。
（「日本の歴史」16などから作成）

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]年貢米や特産物を，船で大量に運び込むことができるから。

[問題]

江戸時代，大阪や江戸などの大都市に，年貢米や特産物などの物資が集まるようになったのはなぜか。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]人口が多く，商品がたくさん売れ，また，交通網の発達によって物資の輸送が便利になったから。

[問題]

江戸時代には，東日本で金が，西日本で銀が主に流通しており，金貨は枚数を数えて使用する貨幣，銀貨は重さを量って使用する貨幣であった。金と銀の価値は日々変動したので，右の資料で描かれているような作業を通して(　X　)をしたり，金貸しをしたりすることで大名をしのぐほどの経済力をもつ商人が現れた。貨幣の流通が進み，商売に必要な計算用具となったそろばんの技能は，寺子屋で子どものころから学ぶことができ，そろばんは町人などに広まった。文中のXに適語を入れよ。

(広島県)

[解答欄]

[解答]両替

[三都]

[問題]

江戸時代には，江戸を含めた三つの繁栄した都市が三都とよばれた。この三都のうち，江戸以外の 2 つの都市名を書け。

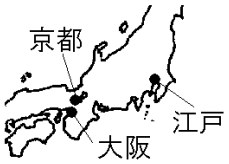
(大阪府)

[解答欄]

[解答]大阪，京都

[解説]

江戸は「将軍のおひざもと」といわれ, 人口は約 100 万人に達した。京都は，朝廷がある古代からの都で，西陣織(にしじんおり)や清水焼(きよみずやき)などの優れた工芸品もつくられ，文化の中心地としてさかえた。大阪・京都を上方(かみがた)という。江戸，大阪，京都をあわせて三都(さんと)と呼んだ。




[江戸･大坂･京都]
三都
上方
大阪：天下の台所
京都：西陣織
江戸：将軍のおひざもと

※入試出題頻度：「三都△」「大阪(地図)○」「江戸(地図)△」「京都(地図)△」

[問題]

江戸時代における江戸の様子について述べているのはどれか。

ア　鎖国のもとで，貿易を許されたオランダ人の居住地が置かれた。

イ　諸藩の屋敷が置かれ 18 世紀には人口が約 100 万人に達した。

ウ　古くから都として栄え，西陣織などのすぐれた工芸品を産出した。

エ　「天下の台所」とよばれ全国の商業や金融の中心地として栄えた。

(栃木県)

[解答欄]

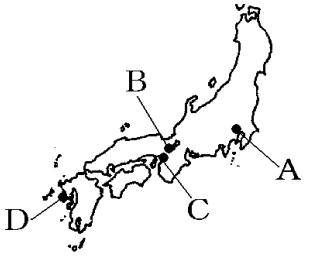
[解答]イ

[解説]

アは長崎，イは江戸，ウは京都，エは大阪。

[問題]

右の略地図中にA～Dで示した都市は，江戸，大阪，京都，長崎のいずれかである。A～D の都市の江戸時代のようすについて述べた次のア～エのうち，正しいものはどれか。1 つ選んで，その記号を書け。




ア　略地図中に A で示した都市には，オランダ商館が置かれ，中国産の絹織物のほか，東南アジアの物品がもたらされた。

イ　略地図中にBで示した都市は，将軍の城下町として栄え，参勤交代によって各地から参勤してくる大名の屋敷が置かれた。

ウ　略地図中にCで示した都市は，「天下の台所」と呼ばれ，諸藩の蔵屋敷が置かれるなど，商業や金融の中心地として栄えた。

エ　略地図中にDで示した都市には，朝廷がおかれ，西陣織などの伝統的な高級織物や工芸品の産地として栄えた。

(香川県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは誤り。「オランダ商館が置かれ」たのはDの長崎である。

イは誤り。「将軍の城下町として栄え」たのはAの江戸である。

ウは正しい。Cは大阪である。

エは誤り。「朝廷がおかれ」ていたのはBの京都である。

[問題]

江戸時代の都市についての説明文として適当でないものを，次のア～エから1つ選べ。

ア　江戸の人口は18世紀はじめには100万人を超えていた。

イ　京都には朝廷があった。

ウ　大阪には各藩の蔵屋敷が集まっていた。

エ　堺は自治都市として栄えていた。

(福井県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]
エが誤り。堺は室町時代に日明貿易や南蛮貿易で栄え，戦国時代後期には富裕な商人(町人)による自治が行われたが，織田信長・豊臣秀吉に屈服して，それまでの自治機能をうばわれた。江戸時代は，幕府の直轄領であった。

【】交通路の整備

[五街道]

[問題]

江戸時代に，江戸を中心に整えられ幕府が直接支配した東海道や中山道などの陸路をあわせて何というか。ことばで書け。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]五街道

[解説]

全国的な陸上交通の整備は豊臣政権にはじまり，江戸幕府により完成された。幕府は，江戸を中心に東海道・中山道・甲州道中・奥州道中・日光道中の五街道を整備した。東海道の箱根や新居，中山道の碓氷などには関所を設け，人々の通行や荷物の運送を監視した。街道沿いには宿泊施設などが整備され，宿場町が栄えた。また，手紙や荷物を運ぶ飛脚が街道を行き来した。

※入試出題頻度：「五街道△」「東海道○」「中山道○」「江戸を中心に整備された△」

[問題]

五街道は，ある都市を中心に整備された。その都市はどこか。次の[　　]から１つ選べ。

[ 大阪　京都　江戸　日光 ]

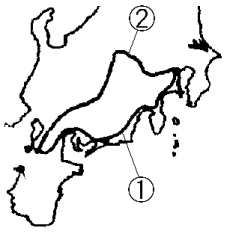
(奈良県)

[解答欄]

[解答]江戸

[問題]

江戸時代の陸上交通で，右の地図中の①と②の街道名を書け。




(福井県)

[解答欄]

| ① | ② |
|---|---|

[解答]① 東海道　② 中山道

[問題]

江戸時代に五街道に沿って「将軍のおひざもと」とよばれた都市から甲州道中を使い信濃国(長野県)を通って「天下の台所」とよばれた都市に向けて旅をするときに，甲州道中の次に通る街道を，次の[　　]から１つ選べ。

[ 東海道　中山道　奥州道中　日光道中 ]

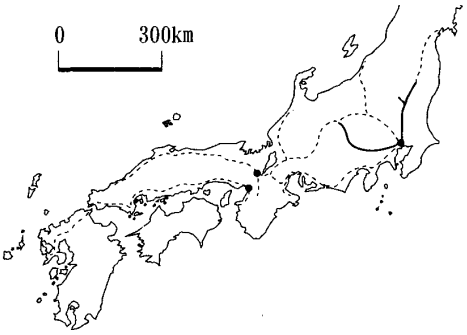
(山梨県)

[解答欄]

[解答]中山道

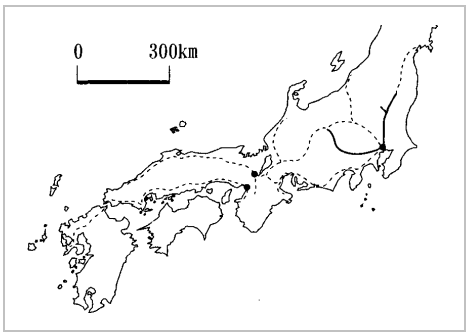
[問題]

東海道は，江戸時代に整備された五街道の１つである。次の略地図は，江戸時代の五街道をすべて含むおもな街道を，-----と――で示したものであり，――は五街道のうちの三つの街道を示している。これを例にして，------のうち，五街道の残りの２つの街道にあたる部分を略地図中に――で示せ。なお，・は当時の三都を示しており，五街道には京都－大阪間を含めないものとする。

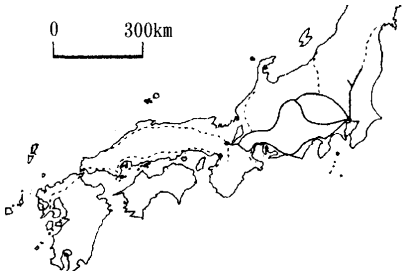



(愛知県)

[解答欄]




[解答]



[問題]

江戸時代の陸上交通について，次の各問いに答えよ。

(1) 街道沿いには宿泊施設などが整備され，町は旅の中継地点として栄えた。街道沿いの各地にあったこのような町を何というか。

(2) 東海道の街道の要地である箱根に，宿駅とともに置かれた治安維持のための施設を何というか。

(3) 街道には手紙や荷物を運ぶため人々がおかれた。彼らは何と呼ばれたか。

(石川県改)

[解答欄]

| | | |
|---|---|---|
| (1) | (2) | (3) |

[解答](1) 宿場町　(2) 関所　(3) 飛脚

[海上交通]

[問題]

江戸時代，全国から江戸に荷物を運ぶための航路が開かれた。その中で，①東北地方や北陸地方の米などを日本海沿岸から瀬戸内海をまわって大阪へ運んだ航路を何というか。②東北地方の米などを，津軽海峡を経て太平洋岸にそって江戸に運んだ航路を何というか。

(石川県改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

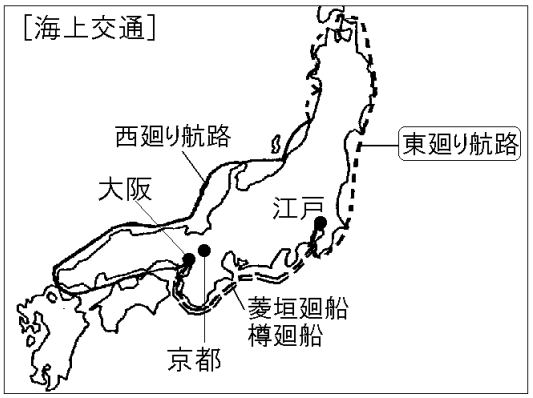
[解答]① 西廻り航路　② 東廻り航路

[解説]

東北地方などの米を，太平洋沿岸をまわって江戸に運ぶ航路を東廻り航路，日本海沿岸から瀬戸内海をまわって大阪に運ぶ航路を西廻り航路と呼んだ。

江戸・大阪間には，木綿や油，しょう油を運ぶ菱垣廻船，酒を運ぶ樽廻船と呼ばれる定期船が運行され，これらの物資を大阪から江戸へ運んだ。

※入試出題頻度：「西廻り航路○」「東廻り航路△」「菱垣廻船△」「樽廻船△」



[問題]

江戸時代，東北地方の米などを，日本海沿岸・瀬戸内海をまわって(江戸／大阪)へ運ぶ西廻り航路などがひらかれた。(　　)内より適語を選べ。

(鳥取県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]大阪

[問題]

木綿，油，しょう油，酒などが，大阪から江戸へ運ばれた。これに関し，次の各問いに答えよ。

(1) 江戸へのおよその海上輸送路を，右の地図に線で記入せよ。

(2) 木綿，油，しょう油などを運んでいた定期船を何というか。

(3) おもに酒を運んでいた定期船を何というか。

(熊本県改)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | |
| (2) | (3) |

[解答](1) 　(2) 菱垣廻船　(3) 樽廻船

[問題]

次のア～エのうち，江戸時代の物資の輸送について述べたものとして，あてはまらないものはどれか。1 つ選んで，その記号を書け。

ア　東北地方から日本海沿岸をまわって大阪にいたる西廻り航路がひらかれた。

イ　大阪には諸藩の蔵屋敷がおかれ，そこには全国から年貢米や特産物が運びこまれた。

ウ　大阪と江戸の間を結ぶ太平洋沿岸に航路がひらかれ定期船が往復した。

エ　各地の港町では，問(問丸)と呼ばれる運送業・倉庫業者が活躍した。

(香川県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エの「問(問丸)と呼ばれる運送業・倉庫業者」が活躍したのは室町時代である。

[問題]

江戸時代の都市を結ぶ交通について述べた次の文 X と Y について，その正誤の組み合わせとして適切なものを，あとのア～エから 1 つ選んで，その符号を書け。

X 手紙などを運ぶ飛脚が，街道を盛んに行き来した。

Y 木綿や酒などが，菱垣廻船や樽廻船で江戸から大阪へ大量に送られた。

ア X－正，Y－正　　イ X－正，Y－誤

ウ X－誤，Y－正　　エ X－誤，Y－誤

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

X は正しい。

Y は誤り。「江戸から大阪へ」ではなく「大阪から江戸へ」である。

[問題]

江戸時代には，交通網が発達し，都市が繁栄した。陸上交通や海上交通が整備され武士や商人だけではなく，外国の使節なども行き来した。次の資料は，将軍の代がわりなどの際に，朝鮮通信使が江戸を訪れた経路を示したものである。この経路についての説明として適切でないものを，ア～エから 1 つ選び，その記号を書け。

(資料) 漢城～江戸までの主な経路

漢城→釜山⇒対馬⇒下関⇒(瀬戸内海)⇒大阪→京都→(東海道)→江戸

＊(→陸路，⇒海路)

ア　五街道として整備された街道を通っている。

イ　東廻り航路の一部を通っている。

ウ　西陣織などの工芸品が生産された都市に立ち寄っている。

エ　日本と朝鮮との国交回復のなかだちを行った藩に立ち寄っている。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イが誤り。下関⇒(瀬戸内海)⇒大阪の航路は西廻り航路の一部である。

【】幕府政治の安定と元禄文化

【】幕府政治の安定

[綱吉の政治]

[問題]

儒学の中の朱子学を奨励し，生類憐みの令を出した第 5 代将軍は誰か。次の中から選べ。

[ 徳川家光　徳川綱吉　徳川吉宗　徳川秀忠 ]

(青森県)

[解答欄]

[解答]徳川綱吉

[解説]

第 5 代将軍徳川綱吉(つなよし)は，儒学の中でも，身分秩序(みぶんちつじょ)を重視する朱子学(しゅしがく)を奨励(しょうれい)した。綱吉は，「(綱吉に)子どもができないのは前世における殺生(せっしょう)のためである」というある僧のすすめに従い，生類憐みの令(しょうるいあわれみのれい)を出し，鳥獣(ちょうじゅう)，とくに犬を大切にし，殺傷(さっしょう)した者は重い刑に処した。

[徳川綱吉]
身分秩序を重視する朱子学を奨励
貨幣の質を落とす→物価上昇
新井白石：貨幣の質を元に戻す

綱吉の時代，幕府の財政は苦しくなっていた。そこで，貨幣の質を落として発行する量を増やし，幕府の収入を増やそうとした。しかし，物価の上昇を招く結果になった。綱吉の後，18 世紀初めに正徳(しょうとく)の治(ち)を行った新井白石(あらいはくせき)は貨幣の質を元にもどした。

※入試出題頻度：「徳川綱吉△」「身分秩序を重視する朱子学○」「貨幣の質を落とす→物価上昇○」「新井白石：貨幣の質を元に戻す△」

[問題]

江戸幕府は，社会を安定させようと儒教を重んじた。その中でも，身分秩序を特に重視した(　X　)学が重んじられた。X に適語を入れよ。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]朱子

[問題]

江戸幕府が朱子学を中心に儒学を奨励した理由を説明せよ。

(福井県)

[解答欄]

[解答]身分秩序を重視する学問であったから。

[問題]

次の文章中のXにあてはまる文として最も適当なものを，ア～エから1つ選べ。

「徳川綱吉は，質を落とした金貨・銀貨を大量に発行することで幕府の財政難を切りぬけようとした。また，(　　X　　)。」

ア　新田の開発をすすめ，年貢の率を引き上げるとともに，裁判の基準となる公事方御定書を制定した

イ　農民を故郷に帰すなど農村の立て直しを目指して改革をすすめ，旗本や御家人の生活を救うため，借金を帳消しにした

ウ　商工業者が株仲間を結ぶことをすすめ，長崎での貿易を拡大したが，一方でわいろがさかんになって政治が乱れた

エ　儒学をさかんにして政治の引きしめを行う一方で，生類憐みの令という極端な動物愛護令を出した

(愛知県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]エ

[解説]

アは徳川吉宗の享保の改革。イは松平定信の寛政の改革。ウは田沼意次の改革。

[問題]

次の文中の①，②の(　　)内からそれぞれ適語を選べ。

徳川綱吉の時代，江戸幕府は，金貨に含まれる金の割合を①(増やす／減らす)ことで，発行する枚数を増やして幕府の財政を立て直そうとした。しかし，金貨が大量に発行されたことで物価が②(上がった／下がった)ため，新たに金貨を発行し，金貨の質をもとに戻して物価の安定を図った。

(長崎県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 減らす　② 上がった

[問題]

5 代将軍綱吉のときには，寺院の建設などで財政が苦しくなったため，幕府は新しい貨幣を発行して財政難を逃れようとした。新しい貨幣の質と発行量をどのようにしたか，簡単に書け。

(北海道)

[解答欄]

[解答]質を落とした貨幣を大量に発行した。

[問題]

新井白石の政策として適当なものを，次のア～エから 1 つ選び，その記号を書け。

ア　生類憐みの令を出し，動物を愛護した。

イ　印旛沼の大規模な干拓工事を始めた。

ウ　低くなっていた貨幣の質を元にもどした。

エ　湯島に昌平坂学問所をつくった。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ア，エは徳川綱吉，イは田沼意次の行った政策である。

【】元禄文化

[問題]

次のXに当てはまる文化の名を書け。

大阪や京都を中心とする上方では，都市の繁栄を背景に，経済力をもった町人をにない手とする文化が栄えた。井原西鶴は，武士や町人の生活を基に浮世草子を書き，近松門左衛門は，心中など現実に起こった事件を基に人形浄瑠璃の台本を書き，庶民の共感を呼んだ。この文化を，この時期の年号から(　X　)という。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]元禄文化

[解説]

17世紀の終わりから18世紀の初めにかけて，徳川綱吉(つなよし)の時代に，京都や大阪を中心とする上方では，都市の繁栄(はんえい)を背景に，経済力を持った町人をにない手とする文化が栄えた。

この文化を元禄(げんろく)文化という。

[元禄文化]
上方で，経済力を持った町人をにない手とする文化

※入試出題頻度：「元禄文化○」「上方で，経済力を持った町人をにない手とする文化○」

[問題]

元禄文化の特色を，中心となった地域に触れながら，簡潔に書け。

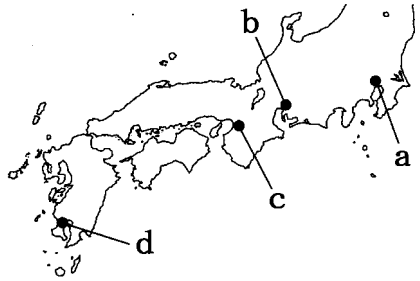
(奈良県)

[解答欄]

[解答]上方で，経済力を持った町人をにない手とする文化。

[問題]

元禄文化の中心となった都市を，次の略地図のa～dから選べ。




(北海道)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]c

[文学など]

[問題]

「閑(しづ)かさや岩にしみ入る蝉(せみ)の声」は，「奥の細道」を著し，俳諧(俳句)を芸術の域にまで高めた人物のよんだ句である。この人物の名を答えよ。

(長崎県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]松尾芭蕉

[解説]

「奥の細道」で名高い松尾芭蕉は，連歌から分かれた俳諧(俳句)に新しい作風を取り入れた。近松門左衛門は「曽根崎心中」など人形浄瑠璃の台本に，義理と人情の板ばさみになやむ男女の気持ちを書いた。大阪の町人井原西鶴は，「日本永代蔵」など，当時の世相や町人のくらしをありのままに浮世草子という小説にえがいた。歌舞伎では，坂田藤十郎や市川団十郎らの名優が出た。

[文学など]
松尾芭蕉：俳諧,「奥の細道」
近松門左衛門：人形浄瑠璃
井原西鶴：浮世草子(小説)

※入試出題頻度：「俳諧の松尾芭蕉○」「人形浄瑠璃の近松門左衛門○」「浮世草子の井原西鶴○」

[問題]

次の文中の①，②に当てはまる適語を下の[　　]からそれぞれ選べ。

松尾芭蕉は，和歌の上の句と下の句を次々と別の人がよむ(　①　)から分かれた(　②　)に新しい作風を取り入れた。

[ 短歌　連歌　川柳　俳諧　狂歌 ]

(福井県・青森県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 連歌　② 俳諧

[問題]

次の①，②にあてはまる人物を下の[　　]からそれぞれ選べ。

① 人形浄瑠璃の台本作者として，義理と人情の世界をえがいた。

② 大阪の町人で，当時の世相や人々のくらしを浮世草子とよばれる小説にえがいた

[ 本居宣長　井原西鶴　松尾芭蕉　十辺舎一九　近松門左衛門 ]

(富山県・徳島県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| ① | ② |

[解答]① 近松門左衛門　② 井原西鶴

[問題]

右の資料は，元禄時代にさかんになったある芸能のようすを描いたものである。近松門左衛門は，右の資料に描かれた芸能の脚本を書いて人気を集めた。この芸能の名称として最も適当なものを，次の[　　]から１つ選べ。

[ 人形浄瑠璃　かぶき踊り　猿楽　田楽 ]

(愛媛県)

[解答欄]

| |
|---|
| |

[解答]人形浄瑠璃

[問題]

右の資料について，次の各問いに答えよ。

(1) 美人画や風景画など，町人の風俗や風景を題材とし，後にヨーロッパの絵画にも影響を与えたこのような絵を何というか。最も適当な語句を，漢字３字で書け。

(2) 右の絵を描いた人物として適当なものを，次の[　　]から選べ。

[ 菱川師宣　葛飾北斎　狩野永徳　喜多川歌麿 ]

(大分県)

[解答欄]

| | |
|---|---|
| (1) | (2) |

[解答](1) 浮世絵　(2) 菱川師宣

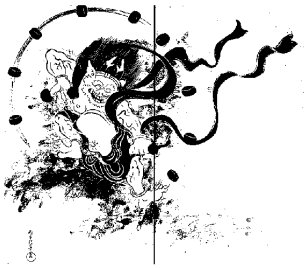
[解説]

菱川師宣(ひしかわもろのぶ)は，町人の風俗(ふうぞく)をえがき，浮世絵(うきよえ)の祖となった。その代表作は「見返(みかえ)り美人図(びじんず)」である。装飾画(そうしょくが)では，17世紀前半の俵屋宗達(たわらやそうたつ)(「風神雷神図屏風(ふうじんらいじんずびょうぶ)」)の影響を受けた尾形光琳(おがたこうりん)が大和絵風のはなやかな装飾画を大成した。

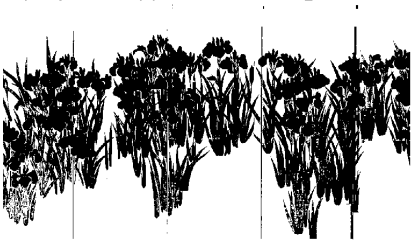
[浮世絵など]
浮世絵　菱川師宣「見返り美人図」
装飾画　俵屋宗達，尾形光琳

菱川師宣「見返り美人図」

俵屋宗達「風神雷神図屏風」



尾形光琳
「紙本金地著色燕子花図」



※入試出題頻度：「浮世絵○」「菱川師宣○」

【FdData 入試版のご案内】
詳細は，[FdData 入試ホームページ]に掲載（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）
姉妹品：[FdData 中間期末ホームページ]（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）

◆印刷・編集
この PDF ファイルは，FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで，印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで，印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 入試の特徴
FdData 入試は，公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。 入試理科・入試社会ともに，過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して，細かい単元ごとに再編集して作成しております。

◆サンプル版と製品版の違い
ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。
しかし，FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また，製品版は，すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。
※FdData 入試の特徴(QandA 方式)（[Shift]＋左クリック→新規ウィンドウ）

◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)
※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると，新規ウィンドウが開きます
社会地理，社会歴史，社会公民：各 6,800 円(統合版は 16,200 円)（[Shift]＋左クリック）
理科 1 年，理科 2 年，理科 3 年：各 6,800 円(統合版は 16,200 円)（[Shift]＋左クリック）
※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。
(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は，メール(info2@fdtext.com)，または電話(092-811-0960)で承っております。
※注文→インストール→編集･印刷の流れ （[Shift]＋左クリック）
※注文メール記入例 （[Shift]＋左クリック）

【Fd 教材開発】 Mail： info2@fdtext.com Tel ：092-811-0960